

ワクチン接種を受ける人へのガイド

2026年8月更新

ヌバキソビッド筋注 1mL

【このワクチンの名前は？】

販売名	ヌバキソビッド筋注 1mL NUVAXOVID Intramuscular Injection 1mL
一般名	組換えコロナウイルス（SARS-CoV-2）ワクチン Recombinant Coronavirus (SARS-CoV-2) Vaccine

ワクチン接種を受ける人へのガイドについて

ワクチンの正しい理解と、重大な副反応の早期発見などに役立てていただくために、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、特に知っていただきたいことをわかりやすく記載しています。添付文書情報は PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に掲載されています。
※副反応：ワクチンの副作用のこと

【このワクチンの効果は？】

- このワクチンは、次の目的で接種されます。
SARS-CoV-2による感染症の予防
- このワクチンの接種により SARS-CoV-2 に対する抗体ができ、SARS-CoV-2 による感染症の発症を予防します。
- このワクチンの予防効果の持続期間は確立していません。

【このワクチンの接種前に、確認すべきことは？】

- ワクチン接種を受ける人または家族の方などは、このワクチンの効果や副反応などの注意すべき点について十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意した上で接種を受けてください。
- 医師が問診、検温および診察の結果から、接種できるかどうか判断します。
- 次の人は、このワクチンの接種を受けることはできません。
 - ・ 明らかに発熱（通常 37.5℃以上）している人
 - ・ 重篤な急性疾患にかかっている人
 - ・ 過去にこのワクチンに含まれている成分で重度の過敏症のあった人

- ・ 上記以外に医師が予防接種を行うことが不適当な状態にあると判断した人
- 次の人は、医師が健康状態や体質に基づいて、接種の適否を判断します。
 - ・ 血小板減少症または凝固障害のある人、抗凝固療法を受けている人
 - ・ 過去に免疫に異常があると診断されたことがある人や両親や兄弟に先天性免疫不全症の人がいる人
 - ・ 心臓や血管、腎臓、肝臓、血液の障害や発育の障害などの基礎疾患がある人
 - ・ 他のワクチンの接種を受けて、2日以内に発熱があった人や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出たことがある人
 - ・ 過去にけいれんをおこしたことがある人
 - ・ このワクチンの成分に対してアレルギーをおこすおそれがある人
 - ・ 腎臓に障害がある人
 - ・ 肝臓に障害がある人
 - ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・ 授乳中の人

【このワクチンの接種スケジュールは？】

● 接種量および回数

〔12歳以上の人〕

1回0.5mLを筋肉内に注射します。

- ・ 通常、前回のSARS-CoV-2ワクチンの接種から少なくとも6ヵ月を経過した後に接種することができます。
- ・ 過去にSARS-CoV-2ワクチンの接種歴がない人には、およそ4週間の間隔をおいて2回目の接種をすることができます。

〔6歳以上12歳未満の人〕

初回免疫として、1回0.5mLを2回、通常、3週間の間隔をおいて、筋肉内に注射します。

- ・ 過去にSARS-CoV-2ワクチンの接種歴がない人が接種対象者です。
- ・ 1回目の接種から3週間を超えた場合には、できる限り速やかに2回目の接種を受けてください。
- ・ このワクチンは2回接種により効果が確認されていることから、原則として、他のSARS-CoV-2に対するワクチンと混同することなく2回接種してください。

[定期接種ⁱ]

- ・ 65歳以上の人
- ・ 60歳から64歳の人で以下の人
 - ・ 心臓、腎臓、呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限されている人
 - ・ ヒト免疫不全ウイルス（HIV）で免疫機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な人

[任意接種ⁱⁱ]

- ・ 希望される場合には医師に相談して下さい。

i 定期接種：予防接種法で定められた予防接種を、定められた年齢で受ける場合

ii 任意接種：予防接種法で定められていない予防接種や、定期接種で定められた年齢から外れて受ける場合

- 医師が必要と認めた場合には、同時に他のワクチンの接種を受けることができます。

【このワクチンの接種後に気をつけなければならないことは？】

- ・ 接種後に、ショック（冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失）、アナフィラキシー（全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい）がおこることがあります。接種後一定時間は接種施設で待機するか、すぐに医師と連絡をとれるようにしておいてください。
- ・ このワクチンの接種のあとにショック、アナフィラキシーがあらわれた人は、それ以降はこのワクチンの接種は受けないでください。
- ・ 心筋炎、心膜炎が報告されています。心筋炎、心膜炎が疑われる症状（胸の痛み、動悸、むくみ、呼吸困難（息苦しい、息切れ）、頻呼吸（呼吸が荒い、呼吸が速い）など）があらわれた場合には、すぐに医師の診察を受けてください。
- ・ 接種当日は激しい運動をさけ、接種部位を清潔に保ってください。
- ・ 接種後は健康状態によく気をつけてください。接種部位の異常な反応や体調の変化、高熱、けいれんなどの異常を感じた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。
- ・ 接種直後または接種後に、血管迷走神経反射*として失神することがあります。失神による転倒を避けるために、次のことを守ってください。
 - ・ 接種後に診察室から待合室などへ移動するときには、看護師や保護者の方に腕をもって付き添ってもらってください。

- ・接種後一定時間は、背もたれや肘かけのあるイスなど、体重を預けられるような場所で待っててください。
- ・待っている間は、なるべく立ち上がることを避け、座っててください。
- ＊血管迷走神経反射：注射を打ったときの痛み、恐怖、興奮などによる刺激が脳神経のひとつである迷走神経を介して中枢に伝わり、心拍数が減ったり、血圧がさがったりすることがあります。そのため、気分が悪くなったり、めまいやふらつき、失神などがおこったりします。
- ・他の医師を受診したり、他のワクチンを接種したりする場合は、必ずこのワクチンを接種したことを医師または薬剤師に伝えてください。

副反応は？

特にご注意ください重大な副反応と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副反応であれば、それぞれの重大な副反応ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師に相談してください。

重大な副反応	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい

以上の自覚症状を、副反応のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副反応ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき
頭部	めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白
口や喉	喉のかゆみ
胸部	動悸、息苦しい
手・足	手足が冷たくなる
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹

【このワクチンの形は？】

容器の形状	性状
	無色から僅かに黄色い、澄明から乳白光を呈する液

【このワクチンに含まれているのは？】

有効成分	SARS-CoV-2 rS原薬
抗原株	SARS-CoV-2 オミクロン株XFG
添加剤	Matrix-A、Matrix-C、コレステロール、ホスファチジルコリン、リン酸水素二ナトリウム二水和物、リン酸二水素カリウム、塩化カリウム、塩化ナトリウム、リン酸水素二ナトリウム七水和物、リン酸二水素ナトリウム一水和物、ポリソルベート80、pH調節剤

【このワクチンについてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副反応などのより詳しい質問がある場合は、医師または薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
武田薬品工業株式会社 (<https://www.takeda.com/jp/>)
くすり相談室
フリーダイヤル 0120-566-587
受付時間 9:00～17:30 (土日祝日・弊社休業日を除く)